



## Press Release

2021年3月3日

### ヘンケルジャパン、 自動車補修トレーニング & アプリケーションセンターをオープン

ドイツの化学・消費財メーカー ヘンケルの日本法人ヘンケルジャパン株式会社(本社:東京都品川区 社長:浅岡 聖二)のジェネラルマニュファクチャリング & メンテナンス事業部は、接着技術事業部門アジアパシフィック技術センター(横浜市磯子区)に、「自動車補修トレーニング & アプリケーションセンター」を2021年4月5日にオープンします。

ヘンケルでは、“実際の自動車補修を通じて、最新のケミカルを用いた補修工法を理解いただくこと”をコンセプトに、本センターを世界各地に順次展開しており、日本は13番目の開設となります。自動車補修用の LOCTITE(ロックタイト)および TEROSON(テロソン)ブランドの製品を随時取り揃え、展示している自動車のカットモデル・お持ちいただいたパーツ等を用いての自動車補修のトレーニングだけでなく、自動車補修工法の開発・検証も積極的に取り組んでいきます。環境に配慮した製品で効果的に補修する方法などお客様の満足度を高めるサステナブルなトータルソリューションの提供を目指しています。



完成イメージ

## ■ 主な補修工法



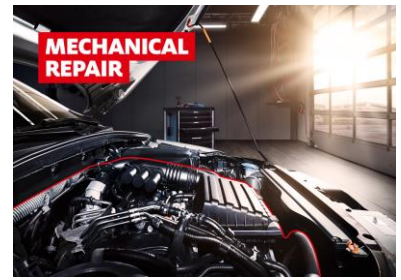
- ・部品脱着・分解
- ・パネルボンディング(ウェルドボンディング)
- ・プラスチックリペア(バンパー補修、プラスチックパーツ補修)
- ・シーリング(シームシーリング)
- ・防音アンダーコート
- ・塗布型制振材



- ・自動車ガラスの脱着



- ・アンダーボディコーティング



- ・部品の分解・組み立て

## ■ VRMトレーニング&アプリケーションセンター



カットモデル



塗装ブース

## ヘンケルについて

ヘンケルはバランスのよい、多角的なポートフォリオを備え、産業および一般消費者向け事業をグローバルに展開しています。優れたブランドとイノベーション、テクノロジーを誇るヘンケルは、アドヒーズブテクノロジーズ（接着技術）、ビューティーケア、ランドリー＆ホームケアの3分野において、グローバルリーダーとしての地位を維持しています。1876年に創立し、140年以上に及ぶ成功の歴史があるヘンケルは、ドイツのデュッセルドルフに本社を置き、世界に52,000名以上の社員を擁しています。サステナビリティの分野をリードする存在として評価されるヘンケルは、多くの国際的指標やランキングでトップの地位を維持しています。2019年の売上高は200億ユーロを超え、営業利益はおよそ32億ユーロを超えました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っております。さらなる情報はこちら[www.henkel.com](http://www.henkel.com)をご覧ください。

ヘンケルジャパンウェブサイト: [www.henkel.co.jp](http://www.henkel.co.jp)

ヘンケルジャパン接着技術事業部門ウェブサイト: [www.henkel-adhesives.jp](http://www.henkel-adhesives.jp)

ヘンケルジャパン Facebook: [www.facebook.com/HenkelJapan](https://www.facebook.com/HenkelJapan)

ヘンケルジャパン接着技術事業部門YouTube: [www.youtube.com/HenkelJapanAdhesiveTechnologies](https://www.youtube.com/HenkelJapanAdhesiveTechnologies)

－本件に関するお問合せ先－

ヘンケルジャパン株式会社 接着技術事業部門

マーケティング部 担当: 高林 宏和

TEL: 080-4191-4963 e-mail: [hiroказu.takabayashi@henkel.com](mailto:hiroказu.takabayashi@henkel.com)